



2022年12月2日

各 位



会社名 J C R ファーマ株式会社
代表者名 代表取締役会長兼社長 芦田 信
(コード番号 4552 東証プライム市場)
問合せ先 上席執行役員管理本部長 本多 裕
(TEL 0797-32-1995)

希少疾病の治験薬・商用医薬品の包装およびグローバル流通管理の欧州拠点を ルクセンブルク大公国に設立

当社は、ルクセンブルク大公国（以下、「ルクセンブルク」）と現地の土地賃借および建物の取得に関する契約を締結しましたので、お知らせいたします。

当社は中長期の戦略的投資として、2017年よりルクセンブルクと製造所建設の検討を続けてまいりました。この度、同国において治験薬・商用医薬品の二次包装、備蓄及びグローバルの流通管理に特化した欧州拠点を立ち上げることを決定し、2022年8月に設立した当社の子会社である JCR Luxembourg S.A.が、2017年にお知らせした工場用地に代わり Dudelange 市に位置する土地・建物を取得することを同国経済省と合意いたしました。

当社の代表取締役会長兼社長 芦田信は次のように述べています。

「この度はルクセンブルク大公国と本契約の締結ができた事を大変光栄に思います。

当社とルクセンブルクは数年にわたり、当社のグローバル展開を見据えた戦略について検討を続け、まずは治験薬・商用医薬品の二次包装、備蓄及び流通管理に特化した拠点の設立からその取り組みを実施することとなりました。ルクセンブルク政府の理解と協力のもとに締結された本契約は、当社のグローバル展開にとって欠かせない、大変有意義なものであると考えております。当社は現在、独自の血液脳関門通過技術「J-Brain Cargo[®]」を適用した複数のライソゾーム病治療酵素製剤の研究開発を進めております。一日でも早く、本施設から当社の製造するバイオ医薬品が世界中の希少疾病の患者の皆さんに届けられることを期待しております。」

ルクセンブルクのフランツ・ファイ経済大臣は次のように述べています。

「ルクセンブルクにおける J C R ファーマ株式会社（以下、JCR）のプロジェクトは、国際企業がヨーロッパ市場またはそれ以外の市場へのアクセスを可能とする戦略的ハブとしてのルクセンブルクの魅力を強調しています。今回のプロジェクトにより、ルクセンブルクは我が国の経済を多様化するための2つの戦略的セクター『医療技術』と『物流の強化』にお

いて、重要な一步を踏み出すこととなります。JCR が展開する活動は、既存の医薬品の物流ハブである LuxairCARGO の活動を補完することになるでしょう。本契約は、医薬品サプライチェーンのための柔軟性の高いエコシステムを所持するルクセンブルクの立場を強化するものです。我々は、本契約によって我が国および世界中の希少疾病との戦いに貢献できることを誇りに思います。」

記

1. 取得不動産

(1) 概要

① 所在地	ZI wolser, L3452 DUDELANGE
② 物件の概要	(ア) 用途：GMP に準拠した医薬品の二次包装施設 (イ) 敷地面積：10,270m ² (ウ) 建設面積：2,350m ²
③ 取得資金	自己資金
④ その他	事業用地はルクセンブルク大公国より賃借使用する

(2) 取得相手先

ルクセンブルク大公国

(3) 契約締結日

2022年11月10日

2. 子会社概要

① 名称	JCR Luxembourg S.A.
② 代表者の役職・氏名	Mathias Schmidt, Director
③ 事業内容	医薬品およびその原料の製造、包装、保管および流通（輸出入を含む）
④ 出資金	500万€（679,100,000円） ※1€＝135.82円（2022年8月4日のTTM）にて邦貨換算しております。
⑤ 設立年月日	2022年8月4日
⑥ 出資比率	JCRファーマ株式会社 100%

3. 今後の見通し

本件に関する今期（2023年3月期）の当社連結業績への影響は軽微であります。

以上